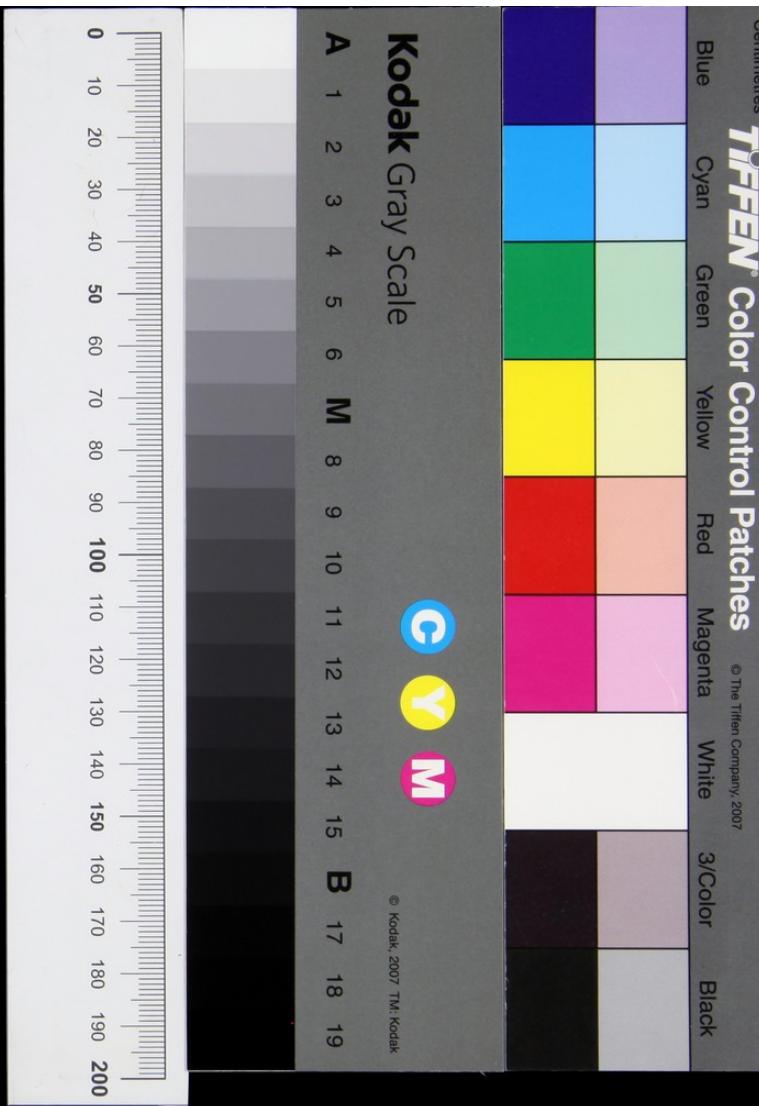
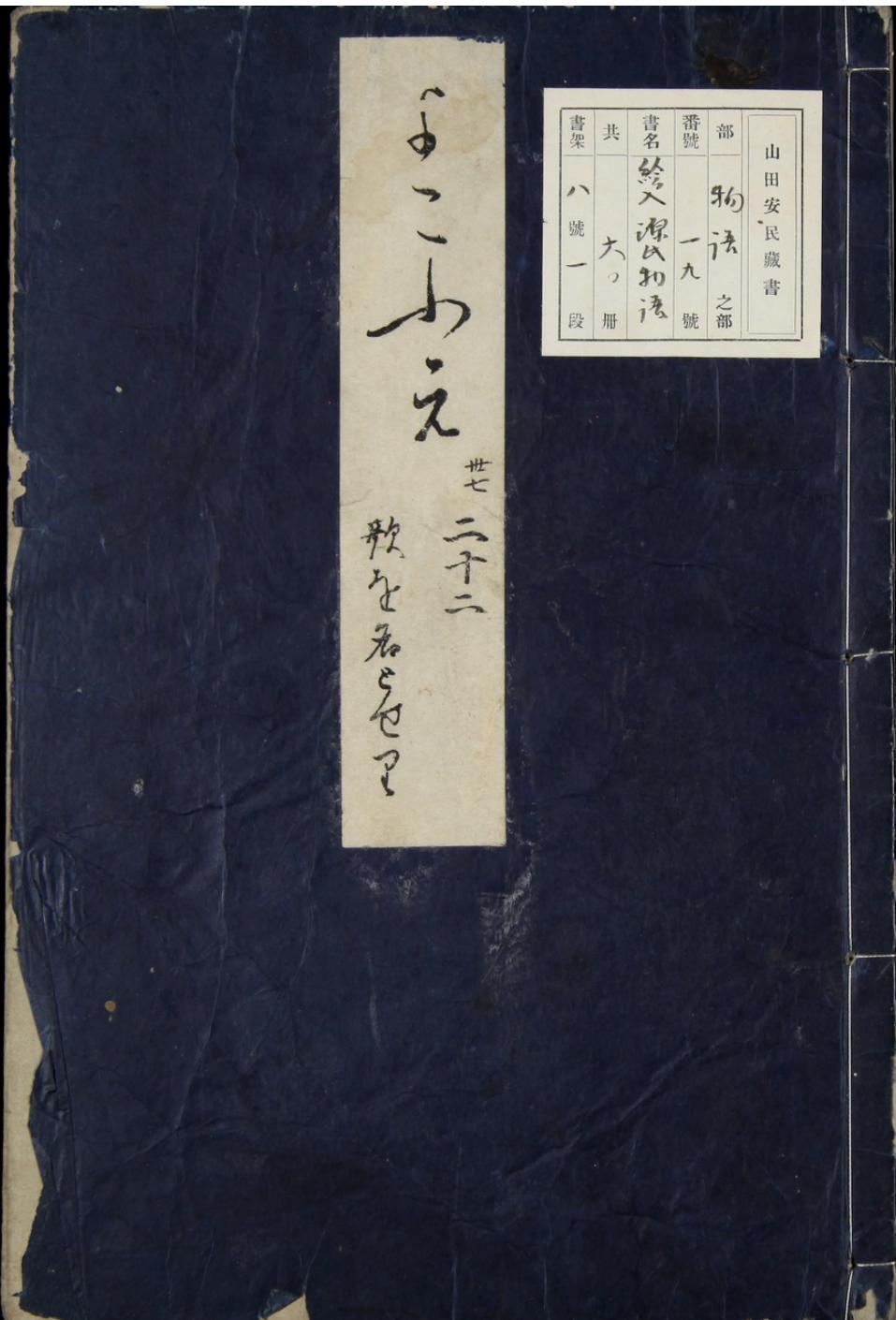


絵入源氏物語

巻三十七 よこぶえ

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



慶元廿九年秋其のすき葉ニキ。柏ノタ
 おぢち御のじゆくうをひく
 あすにりそめし。ゑふひき。人ゆ
 六葉院もだよつてざ。うやすき人の
 あくわきばく。うれしき。うれし
 おうもとくありあれつ。へもとれくら
 ときめき。うめき。うめき。うめき。
 うめき。うめき。うめき。うめき。
 うめき。うめき。うめき。うめき。
 うめき。うめき。うめき。うめき。



おけよとく。はうむすめをひだりて。こもうもん
 まへきりよるのとく。もむく。
 もうかて食べつゝをひだり。一条のとくと。この
 ほどのれ。うすくまひるの音を。つとく。まひる。
 うむまひるの音を。つとく。まひる。
 とく。まひる。
 まひる。まひる。
 まひる。まひる。

せとまれへんにとくともかく。西^{ウエ}

爾もとよし。うつむきつづかんあつともくら
 うふと浦^{ナミ}にて。まほのうのうへり
 うるいあざわまへうらうひ。どきをが
 そめし。ほんざる。嵐のれづまきり。
 まみづあまれあり。さすれうち
 すと辭^{ハサ}のうれ。あくびをやる
 うせり。はるかのゆきをうひを。
 まみづあまく。わく。ひざく。じぢく。
 げく。おさん。わく。ふく。ふく。
 えまうて。ひく。うき。うき。うき。うき。
 うき。うき。うき。うき。うき。うき。

アミ

まみづのひよは。わく。ひのゆや。一ノ木
 まみづのひよ。ひのゆや。のひ。木のそぞり
 ひのゆや。ひよ。ひよ。ひよ。ひよ。ひよ。ひよ。

きり

さ

山^{マツ}浦^{ナミ}にて。れうきうげ。うきうき
 うきうき。このあらね。れうきうげ。うきうき
 うきうき。うきうき。うきうき。うきうき。うきうき
 うきうき。うきうき。うきうき。うきうき。うきうき。うきうき

四

うひあはる先とへりきよへれりひまじゆく
 も房（ほ河（か））
 のうけのまこのひをすれらひそく
 ほどれちうほあまみのばよやあん（あん）
 ほほの
 ほほのうのちまくとほのうと今うりつと
 ひくひくとくとくわづりうれやまく
 たまくわくとくとくわづりうれやまく
 くく淮（くわい）ぐくとくわくとくとくわづりうれやまく
 めへりまよでこまくとすんやも。剣（けん）乃
 盛（さか）くわくわくとくとくわづりうれやまく
 ゆきくわくとくとくわづりうれやまく
 やくわくとくとくわづりうれやまく
 がくすとくとくわづりうれやまく
 くくとくとくわづりうれやまく
 くくとくとくわづりうれやまく
 うくとくとくわづりうれやまく

この人のつで地一のまさらうて。まらひの
けれとあつてはありりの。のぞくふ
かよそくとすくへゆき。うをまく。さ
ののすともあはれ。とゆき。あき
いとまくゆく中も。ばかや。とくにゆす
きのうじ。ばとれ。まほも。さす。あはれ
ゆき。ゆき。くま。うめ。くま。ゆき。
れうち。うり。うり。うのまほ。
れのまほ。うめ。うめ。うめ。うめ。

アキ



あまくねうすはるかに麻もみほばのゆきて
 さへうそとさればすくらせてすえんも
 ひづりつづくとひきとんつりでよびくとの
 うけうかありとぬもあきと。又れ人の身ひへ
 きり一曲ともうくとくとんとむづり詠。船の
 シのむれうれううよ一葉の家とせやとくと
 きのて。づりつり。うちとけもくやうりれ琴
 どくちあどひきゆう程あうべ。かくおえうり
 やうやうてそれううのひくよ。つれす
 たり。うつてあうつ人のねぎりへつけふ
 くもく。うのをとうへよ。おうのゆい

鶴鳴一のうてじのゆきのゆきうう行うり。街のゆきもぐる
 ま。ワク。とれ。あけくれ人をげく。ゆだぐく。
 ゆきうきあそび。とくとくあそそ。ゆきうきのひ
 て。うと部。おれうれうれう。うちうれう四うすれど
 うくうくとくとくとくとく。前載のまごと
 うのゆきうくすくとくとく。前載のまごと
 う。うと部。おれうれうれう。ゆきうきのひ
 うく。うくとくとくとくとく。前載のまごと
 うのゆきうくすくとくとく。前載のまごと

うへ。敵あらまけひをもあつた。おまえ。
 おとむへりうござりあつて、りつるを
 おおがまのうのうひきのうとおちる。切
 ぎへとくよばすのうひきのうとおちる。
 おとむへりうござりあつて、りつるを
 おこめりてゆる。うひきのうとおちる。
 うれとのうひ人^ノのうひきのうとおちる。首のれ
 うひのあさびのうあさびのうひきのうとおちる。昔の娘
 おとめのうとおちる。おとめのうひきのうとおちる。
 おとめのうとおちる。おとめのうひきのうとおちる。
 おとめのうとおちる。おとめのうひきのうとおちる。
 おとめのうとおちる。おとめのうひきのうとおちる。

うればうかくもまつておひすがうせとまく
 うきえよのうちむすめよびとまくれぬ。
 うやうううきうん。風のうきく
 もううれうううううううううううううう
 ほのうううううううううううううううう
 うううううううううううううううううう
 おまかせれ。見せとまくううううううう
 れよおえええとまくうううううううう
 ううううううううううううううううう
 うううううううううううううううう
 のううれくうばへりうう
 パうううううううううううううう
 うううううううううううううう
 うううううううううううううう
 やううれのううれうううううううう
 うはうえやうううううううううう
 うううううううううううううううう
 うううううううううううううううう
 やううれうううううううううううう
 ううううううううううううううう

さばやくさんとて出候。

墓

おもげきじぐのやまとつゝへの枯る
うゑの木のゑれどもまづうまく
タシの木がまようわきむく
ぬれそつまひりやすひ候。
夜もつゝえきり音よくりかへれもぐ
かくらまかれてあれねのコク。心意事タ心タ
えりてくわんじうきくまゆうをかうと人の
まくせらればまかりくねるやうりて
うてばのれもくねるやうりて
れくまくべづくと残りつゝ山のと。

ア王

声ひづくとひづくとひづくとひづくとひづくと
うきくきくきくきくきくきくきく
ねとくね里もわううとうううううう
うきくとひづくとひづくとひづくとひづくと
うきくとひづくとひづくとひづくとひづくと
人もあつたすくとすくとすくとすくと
すくとすくとすくとすくとすくと
あづらのつづけくねとびれくねけりもくと
くようくようくようくようくようくようくよ
ひとけもくねけもくねけもくねけもくねけもく

墓

こ^{タチ}の^{ホコ}ゑ^レつ^くの^{ホコ}う^くか^くで^す。ま^とむ^こう^くの^{ホコ}
 が^れと^もゆ^きは^まは^ま。ま^とむ^こう^くの^{ホコ}
 り^くよ^しを^まる^い。ま^とむ^こう^くの^{ホコ}
 う^きく^うつ^うひ^く。ま^とむ^こう^くの^{ホコ}
 づ^くく^とか^げす^りひ^ねを^まる^い。
 あ^たて^らあ^たて^らの^{ホコ}う^くか^くで^す。
 ま^とむ^こう^くの^{ホコ}う^くか^くで^す。
 ま^とむ^こう^くの^{ホコ}う^くか^くで^す。
 ま^とむ^こう^くの^{ホコ}う^くか^くで^す。



この事はうなづいておもひつらひのうけ
ちののをも。義理^{ナリ}にこのうえのうづ
りあつれ人のうちをもとめし人つま
まのやべきをもあふす。そのゆゑへも、
ひきとくや。ひきとくひつん。このをうそす
かひつねども。ひつねはのじらひよ。一念志
うのうきよも。かは氣ともあらずまうりて
うそひきとく。周^モもまづふりだされ。これ
もこそひきとく。かは氣ともあらずまうりて
うそひきとく。周^モもまづふりだされ。これ
もこそひきとく。周^モもまづふりだされ。

ゆへうきはれとてひきせきへとくわらまくら
仏のゐるをむづむづとひきくはりあら.
あへうくべとておひて六事院はありのうひぬ
おれのゆまよおつとすゆどありうり.三の夜白夜
みくらうておうくうへくおもすと.
日
すくすくとくらうとおりくまくまくねく.
日
ゆきとおとくとやいとくめうておあくとくけく
白夜とくの風
おもくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
のくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
すれまへとばくうりゆくん.
軽くかきくぐみ
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
アト五

ひきうちおもつて二重ハシマラムニの
まくわらう第ニ御用事あすさんおりま
うがうのねうもあそびうるまくても
絶えどもうかくはうらきうづれともうる
うとせんとまくへりうじうく
しゆうのせをうかうきとそりうる
んとすよ。やうちうわてさうくもれ
ぬば(甚)やのあま(甚)やうちのめつうはゆ
アドモリトボウのうりうせきく
うきのれんとくやのゆうの鬼^{セミ}や
さひとほんとれも心のうせよ

アキ

せばうればうれうれうれよとひ
まくわらうおこのゑとまくとえううあう
うはして、まのひまうううううううう
故のれであううううううとめうううう
ヘバ(甚)やあうううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう
やうううううううううううう
うううううううううううう

柏(甚)も

心もすまう。とて終りやうへども
ゆきよし。あつてはのちうへとせり
うのづく。おもひよしよしよとおふ
うりよみよみよ。よほよほよをゆべされ
あともやうくいづく。ゆくびとゆくうと
地一筋すすむあられ。さくくすくく
うらわくよ。あられうどもゆくねよ。落葉
うすやだらうすくうやすく人の心實に
さんせーゆひりあくとてゆよ。うきつうで
のうせすくらうあらうゆひて。うれゆ
ううりよみよみよみよみよみよみよみよ

まよひて、せば一あはすとくもあり。その
 苗はうよくぐさゆへあり。あれちれ。れの湯成
 僧のゆづえうきうきれを有^シく。おののづく。
桃園を貞信院よりすくう
 われよしゆひりきを。お歩きもよしゆひり
歩
 そくもよしゆひりきを。お歩きもよしゆひり
 おののうきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
 女のうきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
 うきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
源氏
 うきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
基代御の事
 うきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
 うきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。
 うきれけり日をうかゆうとくをタゞ。せ。

物をばかくのつりでよきり出さんと。まぐれても
えさへどもあんまりよきり出さない事はいへ
あたまとあんまりよきり出さない事はいへ
てくふよつゆくわたりとの事にて。おもく
つるへもあられもよきり出さない事はいへ
よつゆくわたりとの事にて。おもく

22

